

**製品名: TBC1D4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21176**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:147kD;Observed MW:160kD

**抗原情報**

遺伝子名	TBC1D4
別名	TBC1D4;AS160;KIAA0603;TBC1 domain family member 4;Akt substrate of 160 kDa;AS160
遺伝子 ID	9882.0
SwissProt ID	O60343
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

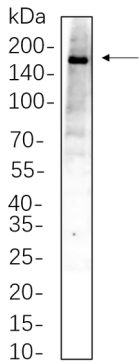
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は Tre-2/BUB2/CDC16 ドメインファミリーのメンバーである。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Rab-GTPase 活性化タンパク質であり、2つのリン酸化チロシン結合ドメイン (PTB1 および PTB2)、カルモジュリン結合

ドメイン (CBD)、Rab-GTPase ドメイン、および複数の AKT リン酸化モチーフを含む。このタンパク質は、血流から骨格筋および脂肪組織へのグルコースの輸送に重要なグルコーストランスポーター 4 (GLUT4) のインスリン依存性輸送を制御することで、グルコース恒常性維持に重要な役割を果たすと考えられている。この遺伝子の発現が低下すると、細胞膜上の GLUT4 レベルが上昇することから、このタンパク質は基底状態における GLUT4 の細胞内保持に重要であることが示唆される。インスリンにさらされると、このタンパク質はリン酸化され、GLUT4 小胞から解離し、細胞表面の GLUT4 が増加し、グルコース輸送が促進されます。Ph

## 研究分野

-

## 画像データ



HepG2 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを TBC1D4 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。